



ALVARK Will

2021-22シーズン活動報告

トヨタアルバルク東京株式会社

代表挨拶 MESSAGE

アルバルク東京は、トヨタ自動車男子バスケットボール部時代から現在のプロスポーツクラブとして長年に渡り日本バスケットボール界をリードし、リーグでの優勝や日本代表選手を多く輩出するなどの実績を積み上げてきました。ここまで我々が活動してこられたのは、アルバルク東京を常に応援していただけるファンの皆さま、地域社会、パートナー企業様のサポートがあったからこそその結果であると認識しています。

「ALVARK Will」は、アルバルク東京をいつも応援してくださる皆様の力になれる、世界を目指しながらもコミュニティに寄り添うリーダーでありたい、というアルバルク東京の想いを体現し、アルバルク東京の感謝の気持ちを行動に表すものです。

SDGsという世界共通の目標に向かって、今ほど「連帯」を必要とされている時はありません。そしてそれは、アルバルク東京にとって、スポーツのチームワークを活かし、人と人をつなぐスポーツの力で、我々を支えていただいている皆様への恩返しと社会への貢献をするための最適な機会であると認識しております。

アルバルク東京のクラブスローガンでもある“WE”にも通じる連帯、固い絆で結ばれたチームワークを、今こそ「ALVARK Will」の活動を通して発揮し、アルバルク東京を支えていただいている皆様と共に、よりよい未来に向けて活動できたら、こんなに素晴らしいことはありません。アルバルク東京は、B.LEAGUEをリードし世界を目指すトップランナーとしての社会的責任を果たし、オンコートでも、ファンの皆さま、地域社会、そしてパートナー企業様とともに、全力を尽くして大切な地球で発生する課題解決に取り組んでいくことをお約束いたします。

トヨタアルバルク東京株式会社
代表取締役社長 林 邦彦

アルバルク東京の社会的責任

アルバルク東京は、世界的大都市東京を拠点とし、「地域とともに成長し、世界を目指すスポーツクラブ」を目標に、バスケットボールのゲームを通して夢と感動を届ける事業を運営しています。

世界共通の目標であるSDGsの達成に一丸となって行動を起こすべき今、アルバルク東京はBリーグの社会的責任プロジェクト「B.LEAGUE Hope」と同様に「オフコートの3Point」をコンセプトとして、2021-22シーズンより「ALVARK Will」をスタートいたしました。

ALVARK Willの「Will」には、“未来”や“意思”という意味が込められています。クラブスローガンでもある「WE」の力で笑顔あふれる未来を作るべく、ファン、地域、パートナー企業と一緒に全力で取り組んでまいります。



ALVARK Will

オフコートの3Point

アルバルク東京は、ALVARK Willの活動を通して、「オフコートの3Point (Planet, People, Peace)」の各分野における地域社会に根差した社会課題・社会問題の改善に努め、ファンの皆さまや地域社会、パートナー企業様とともにSDGsの達成に貢献します。

そして、健全な地域社会・日本の発展に寄与し、また世界と協働し、次世代に希望ある未来を届けられるよう、全力を尽くします。

PLANET



地球環境・気候変動（危機）問題への取り組みは、私たちがプロスポーツ事業を運営していく上で最も重要な課題です。気候変動問題が深刻化すれば、事業の運営は困難を極め、子どもたちも好きなスポーツをすることができません。また地球環境が悪化すれば、日常生活を営むことさえできなくなります。

アルバルクは、**世界一丸となって取り組んでいくべきこの重要課題に対するコミットを表明するため、国連「スポーツ気候行動枠組み」に署名し、CO2排出削減に貢献いたします。**また、環境に配慮した事業運営に努め、アルバルクコミュニティをリードして地球環境に貢献するための活動を継続的に実施してまいります。

また、世界最多の競技人口を誇るバスケットボールを事業とするチームとして、アルバルクは、ファンやパートナー、また地域社会、そして世界バスケットボール界とも手を携え、これから生まれてくる子どもたちのためにも、地球を守り、環境の改善に努めます。

PEOPLE



アルバルクは、アルバルク・コミュニティにおいて、**弱い立場、苦しい状況にある人々に支援の手を差し伸べ、人権・ダイバーシティ等に関する人的環境の改善に取り組めます。**

また、**経済的・社会的に恵まれない境遇にある子どもたちや、苦しい状況にある人々にスポーツの力で笑顔や希望、勇気を届け、より多くの方々が健康で豊かな生活を送ることができるようサポートします。**

PEACE



アルバルクは、**地域社会の人々が安心して暮らせるまちづくりに貢献します。**また、スポーツの力を活用した防災・減災の意識向上のための活動に従事します。

さらに、**世界共通言語としてのスポーツ、そして世界最多の競技人口を誇るバスケットボールを事業とする世界を目指すプロチームとして、世界の人々がスポーツを通じてつながり、平和を実現するための活動に尽力します。**

SDGsについて

SDGsは、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。

世界各国の各分野のリーダーや活動家など、地域からの声を集めて世界が一丸となって協力して取り組む17の目標を選びました。

2001年～2015年までの目標だったMDGs（ミレニアル開発目標）が主に発展途上国支援を目的としたものだったのに対し、SDGsは地球上のすべての人が取り組むこととしての共通認識があり、「誰一人取り残さない」というキャッチコピーを掲げているところに特徴があります。

SDGsの17の目標は、相互に複雑に絡み合っていますが、17番目の目標は、目標達成のために様々な機関が協力することを掲げています。



活動内容

PLANET

ALVARK One Team プロジェクト supported by 山一商事

SDGsに貢献する「リサイクル」について、SDGsパートナーである株式会社山一商事のご支援のもと、ファンの皆さまやご来場者さまとともにプラスチックごみ問題に向き合い、その解決に貢献するためのプロジェクトとして推進していきます。10月～12月のホームゲーム計12試合で14箱（約270kg）の衣類を回収しました。回収した衣類からエコバッグを製作し、グッズ売店にて117個のエコバッグを販売し、こどもエコクラブへ寄付しました。



回収



販売



寄付

PLANET

マニフレックスシート

2021-22シーズンより、アルバルク東京のホームゲームではホームチームのベンチ後方席を「マニフレックスシート」として新設しました。自然環境への深刻な影響が懸念されるプラスチック素材、金属スプリング素材を一切用いず、水を基に生成するマニフレックス独自の高反発フォーム「エリオセル(R)」を芯材に使用した特製クッションを設置、ご来場者さまは座り心地と環境への配慮を両立させた“スペシャルシート”で試合観戦を堪能していただけます。



PLANET

スポーツ気候行動枠組みへの署名

スポーツ界が一丸となり気候変動問題に取り組む「スポーツ気候行動枠組み(Sports for Climate Action Framework)」に署名し、UNFCCC(国連気候変動枠組条約)により署名団体として正式に登録されました。アルバルク東京は、今後ホームゲーム運営等でのCO2排出量を計測し報告・公表すること及びファンへの啓発活動を実施することで、署名団体としての責務を果たします。



Global Climate Action
United Nations Climate Change



ALVARK Will

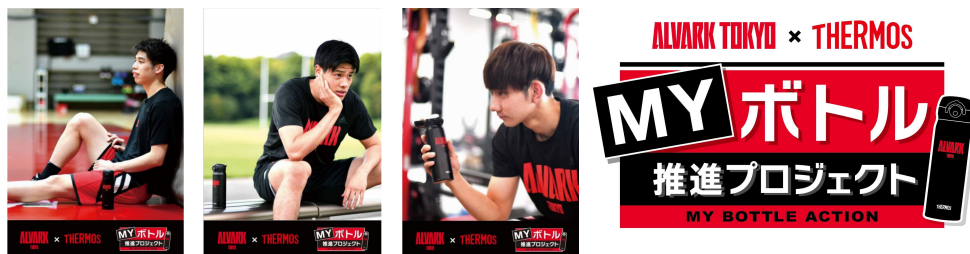
活動内容

PLANET

MYボトル推進プロジェクト

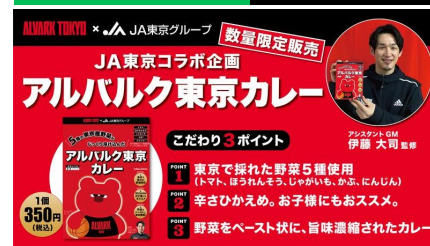
アルバルク東京のホームゲームにおいて、試合観戦時にマイボトル観戦を呼びかける「マイボトル推進プロジェクト」に取り組みました。

マイボトルの利用を促すとともに環境問題に関する意識向上の啓発活動を行い、2021-22シーズンで1人あたり25%のペットボトル廃棄量を削減することができました。 ※昨シーズン比



PLANET

JA東京グループコラボ企画 アルバルク東京カレー



オフィシャルスポンサーのJA東京グループとのコラボレトルトカレーをつくりました！伊藤大司アシスタントGMの監修のもと、東京産野菜がじっくり溶け込んだカレーです。JA東京グループご賛同のもと、立川市社会福祉協議会を通じて、アルバルク東京のホームゲーム会場のある立川市内のこども食堂へ400箱の商品を寄付をしました。

PLANET

Tシャツエコバッグ ワークショップ



不用になったTシャツをエコバッグに作り変え、Tシャツを再利用・再活用しました。Tシャツとハサミだけで縫わずに結んで簡単リメイクのエコバッグが完成！たくさんの親子にご参加いただきました。

PLANET

ハリセン回収リサイクル



来場者全員に配布するハリセンは、2021-22シーズンよりリサイクル可能な素材に変更いたしました。不用なハリセンは会場内に設置された「ハリセン回収ボックス」で回収し、古紙回収業者を通してリサイクルしています。ご来場の際はぜひご協力ください！

活動内容

PLANET

ゲームデープログラムのデジタル化

ご来場のお客様に配布していたゲームデープログラムを、2021-22シーズンより、デジタル化を進めるため紙での配布を取りやめさせていただきました。
今までゲームデープログラム内でお届けしていた情報は、新しくなった各節の試合情報ページよりご覧いただけます。



PLANET

adidas「RUN FOR THE OCEANS」 みんなで走って目標を達成しよう！！

オフィシャルスポンサー adidas様が展開する「RUN FOR THE OCEANS」に賛同し、チームとファンみなさんが一つになって、「走り」を通じてプロジェクトをサポート！
「走り出そう、プラスチックゴミ ゼロの未来へ。#今日は海のために走る」の合言葉のもと、アルバルク東京はファンの皆さまとペットボトル2000本のプラスチックゴミ回収を目標にチャレンジしました。
※10分間の運動が、ペットボトル1本分のプラスチックゴミの沿岸地域からの回収へと繋がります。



PEOPLE

フードドライブ

10月と5月のホームゲーム会場にてフードドライブを実施しました。10月は58kg、5月には2日間で124.4kgの食品が集まりました。
これらの食品は立川市社会福祉協議会を通じて、立川市内の子ども食堂に寄付しました。



※フードドライブとは家庭や職場等で「まだ食べられるのに余っている食品」など、やむなく破棄されてしまう食品を経済的に困窮している方（ひとり親家庭やその子どもたち、求職中の方）など、さまざまな理由で、食事に不自由されている方への支援に活用する活動です。



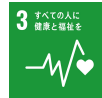
活動内容

PEOPLE

SPECIAL AUCTION

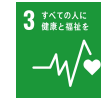
「ホームゲーム勝利時のヒーロー選手サイン入りパネル」と「ファンの投票により選出された月間Man Of the Game選手のサイン入りフォトフレーム」を出品しました。
このオークションの収益の一部は、SDGsへの貢献や社会的責任活動に寄付しました。

10月度：ピンクリボン運動
11月度：オレンジリボン運動
12月度：歳末たすけあい募金



PEOPLE

ピンクリボン運動

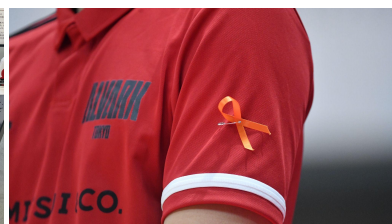
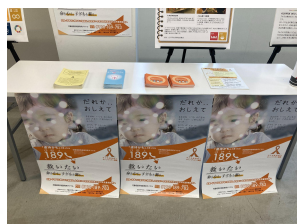


もっと皆さんにも乳がんについて知ってほしい、自分の体を大事にしてほしいという思いから、毎年10月にピンクのバッシュを履くなどのピンクリボン活動を行うザック・バランスキー選手。アルバルク東京は、ザック選手を中心に、クラブとしてもピンクリボン活動を推進しています。その活動で実施しましたチャリティグッズ販売の収益、そして10月ホームゲーム勝利時のサインパネル、「月間MOG」フォトフレームのオークション収益の一部を立川市の乳がん患者会「NPO法人ブーゲンビリア」へ寄付しました。

PEOPLE

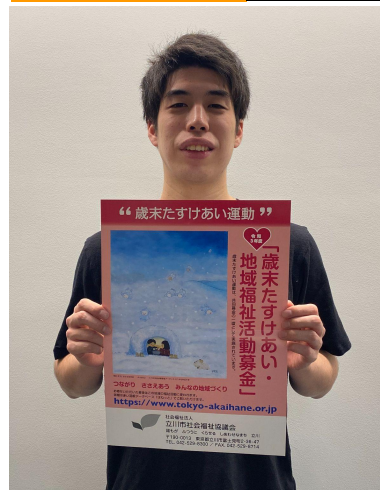
オレンジリボン運動

オレンジリボンは、子ども虐待防止運動のシンボルです。厚生労働省は毎年11月を児童虐待防止推進月間に定めており、アルバルク東京も子ども虐待をなくすことを呼びかけます。



PEOPLE

歳末たすけあい運動



12月のホームゲーム会場にて「歳末たすけあい運動」の募金活動を実施しました。集まった募金は、立川市社会福祉協議会を通して、福祉活動を進めるために活用させていただきました。
協力・寄付先：立川市社会福祉協議会



※歳末たすけあい運動とは、毎年12月に全国一斉に実施される共同募金運動です。時代や福祉課題の変化に応じながら、地域での安心・安全な暮らしを支えるための貴重な募金として、さまざまな取組みに活用されています。



ALVARK Will

活動内容

PEOPLE

伊藤大司アシスタントゼネラルマネージャーが オンラインで学校訪問



伊藤大司AGMとアルバルクチアリーダーがオンラインで学校訪問を実施しました。小学生で目標を設定してから、目標を達成するためにどのように活動してきたかや、これまでの経験についてお話をしました。
また、アルバルクチアリーダーが振り付けしたダンス動画で、生徒の皆さんにダンスの練習もしてもらいました。

PEOPLE

スマイルダンスプロジェクト



損害保険ジャパン株式会社と共に、全ての子どもたちに開かれた場所である児童館で、アルバルクチアリーダーによるダンス教室を実施しました。
音楽にあわせて体を動かすことの楽しさや、誰かのために頑張るチアリーダーの姿勢を通して、子どもたちが笑顔になることを目的としています。
運営協力：特定非営利活動法人日本NPOセンター

PEOPLE

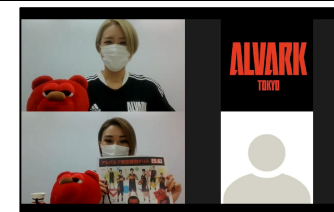
「アルバルク東京算数ドリル」を 東京都内の公立小学校に無償配布



スポーツの魅力を感じながら子どもたちが楽しく算数を学ぶことができるように、バスケットボールやアルバルク東京の選手・チアリーダー・マスコット等に関連した問題で構成されたドリルです。
東京都内9箇所の自治体の公立小学校全245校の小学校6年生（約22,000人）を対象に無償配布し、授業をサポートする副教材として、算数の授業・家庭学習・総合的な学習の時間などで活用いただいています。

PEOPLE

アルバルク東京チアリーダーが 立川市の小学校をオンライン訪問



アルバルクチアリーダーが、オンライン学校訪問を実施しました。
チアリーダーがどのような役割なのか、チアリーダーが活動する中で大切にしている「仲間を思いやる気持ち」や「笑顔と感謝の気持ちを大切にすること」、「正直、誠実、謙虚に行動すること」についてなど、オンラインでつないで授業を行いました。

活動内容

PEOPLE

スペシャルオリンピックデー



※スペシャルオリンピック（SO）とは、知的障がいのある人たちに、継続的なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織です。

アルバルクチアリーダーとSOチアアスリートによるコラボダンスの披露や、アスリートアンバダーによる広島大会のPRを実施しました。コンコースでは、応援旗へのメッセージ記入や不用携帯電話回収を実施しました。

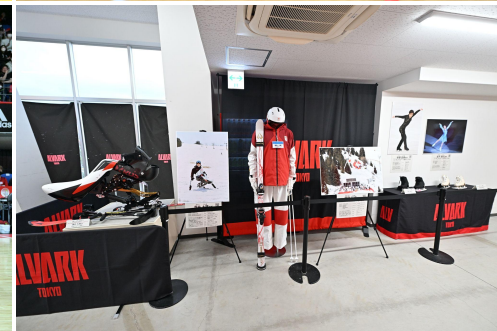


PEOPLE

トヨタアスリートデー



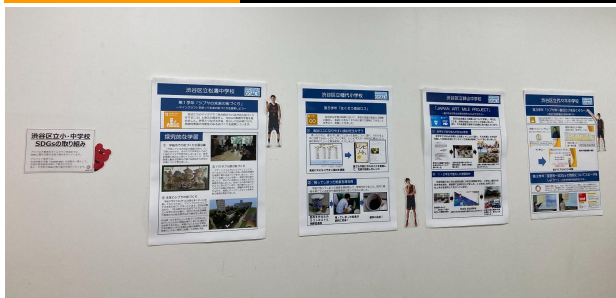
矢野良子さん(3x3)、栗原三佳さん(元女子バスケ)、佐藤圭太選手(パラ陸上)、熊谷 悟選手(車いすバスケ)がハーフタイムショーに登場し、競技の垣根を超えたトークショーで会場を盛り上げてくれました！
コンコースでは佐藤圭太選手によるスポーツ義足の体験会を、併設するドーム立川立飛では熊谷 悟選手による車いすバスケ体験会を実施しました。
また、宇野昌磨選手（フィギュアスケート）、紀平梨花選手（フィギュアスケート）のスケートシューズや、堀島行真選手（フリースタイルスキー）の日本代表ウェア、森井大輝選手（パラアルペンスキー）のチェアスキーを展示しました。



活動内容

PEOPLE

渋谷区立小・中学校のSDGsの取組のご紹介



ホームタウン渋谷区では、SDGsに関する様々な取り組みを行っています。渋谷区教育委員会様にご協力いただき、3月16日(水)秋田ノーザンハピネッツ戦、19日(土)・20日(日)広島ドラゴンフライズ戦の会場にて各小・中学校のSDGsの取組を掲出し紹介しました。

PEOPLE

ALVARK Willシート

SDGsの理念である“誰一人取り残さない”社会を実現するため、プロスポーツ観戦の機会を提供するホームゲーム招待事業を実施しました。

趣旨にご賛同いただいたオフィシャルスポンサーの鹿島建設株式会社様のご支援によりシーズンを通して「ALVARK Willシート」を定期的に無償提供しました。

ご招待者は、地域の関連NPO等との連携により選定し、第一弾として、東京都ひとり親家庭福祉協議会を通じて東京都在住のひとり親のご家庭をご招待しました。

協賛：鹿島建設株式会社 ほか

協力団体：東京都ひとり親家庭福祉協議会 ほか



PEOPLE

アルバルク東京と学ぶSDGs アクサ生命保険スペシャルセミナー



アクサ生命保険ではSDGsのゴール4に掲げられている、より質の高い教育の機会を提供するべく、金融リテラシーの向上のセミナーをCSR活動として実施しました。

PEACE

交通・犯罪遺児およびご家族のホームゲームご招待



アルバルク東京ではBリーグ開幕の2016年から継続的に5回・59名のホームゲーム招待を実施してきました。

この度、この活動を評価いただき、警視庁より感謝状をいただきました。今後も突然の事故等で苦しい状況にあるご家族のために少しでも力になれるよう支援を続けてまいります。

パートナー一覧

社会課題・社会問題の改善、SDGsの達成に向けて連携して活動していくパートナーです。

TOYOTA

THERMOS



山一商事

magniflex®



損保ジャパン

100年をつくる会社

in 鹿島



Money Forward

COMANY
Empower all Life



主なメディア掲載一覧

ALVARK Willの活動を取り上げていただきました。

■読売新聞（WEB版）、時事ドットコムほかWEBサイト「A東京、スポーツ気候行動枠組み署名を発表」2021年9月9日掲載

■朝日新聞（WEB版）、時事ドットコムほかWEBサイト「B.LEAGUE所属のプロバスケットボールチーム「アルバルク東京」と『SDGsパートナー』契約締結のお知らせ
試合会場でのプラスチックゴミ削減を目指す『マイボトル推進プロジェクト』を実施」2021年9月21日掲載

■時事ドットコムほかWEBサイト「アルバルクと一緒にリサイクル！「ALVARK One Teamプロジェクト supported by 山一商事」始動！」2021年10月4日掲載

■読売新聞（WEB版）、時事ドットコムほかWEBサイト「10月はピンクリボン月間 #10 ザック選手が啓発活動を実施、独自プロデュースのチャリティグッズも販売」
2021年10月6日掲載

■朝日新聞（WEB版）、時事ドットコムほかWEBサイト「「ALVARK One Teamプロジェクト supported by 山一商事」10月9日（土）よりアルバルク東京ホームゲーム会
場で取り組み開始」2021年10月13日掲載

■朝日新聞（WEB版）、読売新聞（WEB版）、毎日新聞（WEB版）ほかWEBサイト「スポーツチーム公認オークション「HATTRICK」、アルバルク東京 月間MOGオーク
ションを開催！」2021年11月1日掲載

■東京新聞（WEB版）ほかWEBサイト「子どもに踊る楽しさを バスケ・アルバルク東京 チアリーダーが教室 10日に立川 都内各地で開催」2021年11月6日掲載

■朝日新聞（東京版）「東京とともに」連載コラム 2021年12月2日掲載

■時事ドットコムほかWEBサイト「「アルバルク東京算数ドリル（2022年度版）」が完成！ 東京都内の公立小学校に無償配布」2022年4月1日掲載

■日本テレビ「NEWS24」ほか系列局「事件や事故による遺児を「Bリーグ」に招待 迫力あるプレーを観戦」2022年4月16日掲載

■テレビ愛知「林修×スポーツ×SDGs」 2022年6月4日放送

